

令和5年3月25日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム・ひなたぼっこえびすヶ丘

施設種類：認知症対応型共同生活介護

3月の運営推進会議は、コロナウイルス感染拡大防止の為、事前にホームの状況等を書面で送り、後日皆さんから意見を聞き運営推進会議開催に変えることにした。

【入居者状況】

入居者9名（女性 9名 男性 0名）

平均年齢 90歳 平均介護度 2.3

【活動状況】

- ・日光浴・ドライブ・体操・下肢運動
- ・計算ドリル・新聞折り・塗り絵・折り紙・パズル・壁画作り
- ・雑巾縫い・お焼き作り・巻き寿司作り
- ・ドライブ～鎌手の水仙観賞・人麻呂神社や賀姫神社参拝
- ・季節行事～節分・豆まき・ひな祭り

【事故・ヒヤリハット・苦情】

- ・事故 2件（薬の飲み忘れ・転倒）
- ・ヒヤリハット 2件（トラブル・転倒の危険）

【研修】

- ・リーダー研修～2名参加

【身体拘束適正委員会】

- ・身体拘束等なし
- ・不穏症状がある方の事例検討を行った

【火災時の避難訓練実施】

- ・夜間帯に火災が発生した事を想定した訓練を行った。訓練後消防署の方等にアドバイスをもらう。



- ・人命第一、小さな火は確実に消す。煙で亡くなる為、避難時はタオルで口を覆い、低い姿勢で避難する。
- ・台所で調理中に油に点火した場合は、まずは落ち着き、鍋を蓋等で覆う。それでも消火出来ない場合は消火器を使用。
- ・万が一近所等で火災が発生した場合でも安全な場所に避難する。避難の際、入居者の方が行方不明にならないよう、近所の方の協力を得る。

【その他】

- ・コロナ感染症について、島根県から配布された抗原検査を定期的に活用している。職員が無症状であったが、出勤前の検査で陽性反応が出たため、出勤することなく、入居者の方への感染も防ぐ事が出来た。
- ・面会については窓越し面会から、対面面会に少しずつ緩和していく予定。
- ・ご家族の方より、コロナが落ち着いたら短時間でも自宅に連れて帰る事が出来るようになるのと嬉しいという意見があった。
- ・外出については、気候が良くなり出来るだけ外に出かける機会を増やしている。ドライブや公園等を散歩する事で、入居者の方の表情も明るくなり、気分転換に繋がっている。

（意見）

- ・新型コロナの感染状況は落ち着きをみせてきましたが、ゼロになったわけではありません。体調に不安がある場合は無理をしない、手指の消毒の継続等の感染防止対策はまだしばらく必要だと思います。
- 対面面会が再開されれば、入居者・家族の方も大変喜ばれると思います。ただオンライン面会は遠方の方ともすぐに繋がる事が出来るよい面がありますので、今後も状況に合わせてうまく活用出来ると良いと思います。